

「子どもの好奇心・個性を守り、躍動的な社会を実現する（PM：菊知充）」 （2022年～2024年度）

1. プロジェクトのねらい

●目標9で達成を目指す社会像との関わり

- ①子ども個人がやりたいところの状態になる（個人）
⇒ **項目1-2**
- ②子どもが、やりたい他者とのつながりができる（集団）
⇒ **項目1-2**
- ③子ども個人や集団のやりたい姿と両立する（社会）
⇒ **項目3**

子どもの高い精神的幸福度を実現し、自己肯定感を維持しながら人のこころ成長を促すことを達成目標とする。それにより、成人後のレジリエンス、および多様な価値観を認める社会を推進し、国全体の精神的幸福度を向上させる。具体的なイメージとしては、個性が強い子どもたちでも、自己肯定感を保ちながら成人し活躍する社会。

2. 研究開発プロジェクトのマイルストーン（達成目標）

- ・子どもの心の安寧の「見える化」技術の開発（ウェアブルデバイスによる）
- ・子どもの人好奇心の「見える化」技術の開発（ウェアブルデバイスによる）
- ・子どもが安心して集団行動する芸術プログラム開発
- ・子どもの脳の個性の「見える化」技術開発
- ・学校での社会実装プラットフォームの開発
- ・市民参加型の討論体制を充実（サイエンスカフェ）

3. プロジェクトの全体構成

●プロジェクトの概念図および、実施体制

